



平成 25 年 12 月 24 日

各 位

上場会社名 サノヤスホールディングス株式会社
代表者 代表取締役社長 上田孝
(コード番号 7022 東証一部)
問合せ先責任者 代表取締役副社長執行役員 森本武彦
(TEL 06-4803-6171)

オーストラリアでの大観覧車施設営業開始のお知らせ

平成 25 年 9 月 12 日付けで、オーストラリア・メルボルン市の大観覧車「メルボルン・スター」(“Melbourne Star Observation Wheel” < “MSOW” >) の取得を開示しておりましたが、今般 12 月 23 日に同観覧車の営業運転を開始いたしましたのでお知らせします。

記

1. 開業までの経緯

9 月 12 日に ING グループと本件譲渡契約を締結し、その後 10 月 10 日に決済を完了、該当資産を取得いたしましたおりましたが、このほど観覧車施設を完工させるとともに現地当局からの運行許可も取得し、無事開業いたしました。オーストラリア第二の都市であるメルボルン市という商圏面での好立地を活かし、現地での観光産業振興の期待と後押しを受けて、海外展開の第一歩として十分なパフォーマンスを実現できるよう注力して参ります。なお、既報のとおり、本件事業の運営は弊社豪州子会社の Sanoyas Rides Australia Pty Ltd が担当いたします。

2. 大観覧車の概要

所在地 : 101 Waterfront Way, Docklands VIC 3008

(オーストラリア、ビクトリア州メルボルン市ドックランド地区)

大観覧車名称 : 「メルボルン・スター」 “Melbourne Star Observation Wheel” < “MSOW” >

3. 今後の見通し

本件資産および事業の取得および子会社の設立による当期連結業績への影響につきましては、平成 26 年 3 月期決算予想に織り込み済みです。

以 上

(ご参考資料)

“メルボルン・スター・オブザベーション・ホイール” (略称：MSOW) について

<大観覧車写真>



<大観覧車の概要>

構造部 : オーストラリアの国旗にある「七稜星」(6つの州と1つの準州を象徴)に因み、回転輪は放射状に伸びた7本のアームとリング状のリムで構成されており、デザイン的にもユニークな構造。また、回転輪部分に取り付けられたLEDは、放射状に伸びたアーム構造を活かし、多彩な演出ができるイルミネーションを備える。

回転輪 : 直径は、キャビンを含め約110m。最高部の高さは、地上117.55m。

乗車環境 : 乗物(キャビン)は21台。1台20人乗りで定員は420名。1周約30分で運行。

キャビン : 自動水平制御機能を備え、自動扉。車椅子利用客も搭乗可能に設定済。

ガラスに関しては、安全面から合せガラスを採用し且つ断熱性を高める為にLow-eガラスを採用し赤外線カットによる遮熱効果を高めている。

音楽放送の機能も備え、安全面の観点からは利用客の状況を把握する為全台にCCTVを備え、運転室で監理できるシステムを導入。加えて緊急時には利用客との双方向通話の機能も完備。

環境面 : 駆動部は環境に配慮し、電気や空圧による制御を採用。地上62.55mにある中心部や回転輪へアクセスする為にBMUエレベーターを設置。

<立地>

本件施設の立地するメルボルン市は、当社本社所在地でグループの起業の地である大阪市と姉妹都市提携を結んでいる親近感のある都市であるとともに、オーストラリア第二の都市として同都市圏で人口4百万人とも言われる規模を誇り、年間百万人を超える海外からの旅行者が訪れると言われています。この立地条件を背景に、“メルボルン・スター・オブザベーション・ホイール”(略称：MSOW)は、街の西部に位置するドックランド地区のウォーターフロントエリアの商業施設の中にあります。

<アトラクションとしての特長>

上述の通り、地上からの最高到達点は117.55mにも達し、南半球では最大の観覧車として話題性は十分で、ヤラ川の畔からメルボルン市街を一望できるキャビンからの眺望は、搭乗されるゲストにとって価値ある体験になることと確信しており、近隣の商業施設の活性化とあいまって国内外の観光客・地元の買い物客・家族連れの訪れる新名所になるものと期待しております。

以上